

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.1
平成24年4月10日

平成24年度がスタートしました！

例年になく桜の開花が遅れていましたが、ようやく桜小学校の校庭南の桜も見ごろとなってきました。4月6日（金）には、元気に151名の新1年生が入学し、9日（月）には始業式を終え、985名での新学期が始まりました。

入学式では、たくさんの来賓の皆様、保護者の皆様に参加をいただきありがとうございました。地域の皆様の本校に対する期待の大きさを改めて感じ、身の引き締まる思いがしました。職員一同、保護者の皆様や地域の皆様の期待に応えるよう、児童一人一人の良さを認め、励ましながらいっしょに精一杯取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成24年度 第1学期始業式 式辞より

校長 平野 隆雄

冬を乗り越え春4月、また、桜小学校にもその名の通り校庭には桜の花が咲き、緑が芽吹き、児童の弾む声が戻ってきました。4月は、学校や役所をはじめいろいろな所がスタートする月です。そして、新学期は、決意や希望が高まる時です。児童のみなさんは、「よし、今年はこれに挑戦するぞ」とか「ぜひ、これをしてみたい」など、心に期していることがあると思います。

みなさんも、すでに知っていることと思いますが、桜小学校は、平成25年4月に分離します。ですから、平成24年度のこの1年間で、1000人規模の児童が、伝統ある桜小学校の校舎で学ぶ最後の1年間となります。したがって、分離を控えた最後の1年間は、今まで以上に全職員と全校児童が心ひとつにして取り組み、思い出、感動を心に刻んでいきたいと思っています。この節目の年のスタートにあたり、わたしから二つの話をします。

まず第一は、「時を守り、場を清め、礼を正す」を生活の目標にし、規律正しい生活を送ってほしいと願います。【時を守り】とは文字通り、時間を守ることです。その意味は、相手を尊重することです。それにより自分が信用を積み重ねることができるということでもあります。みなさんは、将来社会に出て仕事をしますが、遅刻をすると信用を失います。次の仕事を頼んでくれません。学校でも授業のチャイム着席という取り組みがありますが、それも時を守ることのひとつです。2分前には姿勢を正し、心を静め、開始を待つこと。それは、自分のためでもあり、人のためでもあります。

【場を清め】とは掃除をすることです。その意味として、次の四つがあると思います。

① 気がつく人になれる ② 心がきれいになる ③ 謙虚になれる ④ 感謝の心がめばえる

【礼を正す】とはあいさつすること、返事をする、そして服装を正すことなどです。あいさつは、人間関係の第一歩です。あいさつをすれば人間関係がよくなります。返事をする、自分から素直な気持ちになるということ。受け入れる準備ができているということです。そういう素直な人は、勉強や運動など、様々な面で伸びると思います。

第二は、三つの「C」を心にとめて今年1年のいろいろなことに取り組んでほしいと思います。一つめの「C」は、**チェンジのC**です。これまでの自分を振り返り、よりよく変えていこうとすることが大切です。やったことは自分に必ず返ってきます。努力の結果や怠けたことの結果などいろいろなものが自分に返ってきます。昨日までの自分の行いが今日の自分をつくり、今日からの自分の行動が明日からの自分を作っていきます。変わることをおそれてはいけません。二つめの「C」は、**チャレンジのC**です。それぞれ新しい学年になり、新しいことに挑戦する気持ちが大切です。6年生は、今年の桜小学校の顔になります。6年生がリーダーシップをとり、新入生を含めた全校985名が心ひとつに力を結集して、勉強、運動、各行事に取り組んでほしいと願っています。

三つめの「C」は、**チャンスのC**です。新たな目標に向かって挑戦をしていけば、必ずチャンスは大きく開けます。そして、すばらしい成果が達成できるものです。チェンジ・チャレンジ・チャンスの三つの「C」を心にとめて、平成24年度、分離の前の桜小学校の最後のしめくくりの1ページを飾ってほしいと思います。以上で平成24年度第1学期始業式の式辞といたします。

